

# はくぶつかん

HIRATSUKA CITY MUSEUM

VOL 3 NO 12 1978. 3. 1  
平塚市博物館 TNO 35



## 3月の鳥 ヒバリ

暖冬異変の今年、ヒバリのさえずりも1月から聞かれるようになりました。萌え出した青草の上にてころんで、空高くあがって歌うヒバリを見るのは、ほんとうに春らしい気分です。あんなに長くよく息が続くものと感心してしまいますが、鳥は吸う息でも吐く息でも同じように声が出るところに、その長い歌の秘密があるのだそうです。

## 3月の行事

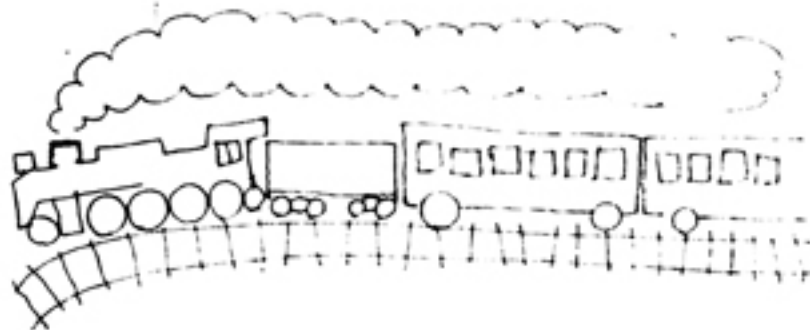
### ●春期特別展「てつどう模型展」

#### SL誘致10周年記念

文化センターに、愛称デコちゃんで見られていたD52型蒸気機関車がきて、ちょうど今年で10年になります。博物館ではこれを記念して、平塚鉄道車両保存会、湘南鉄道研究会の皆さんの協力をえて模型で見る日本の鉄道展を開催します。

期間は、3月1日から4月8日までで、この間、下記の行事を講堂などで行ないます。

- 3月 4日(日) 映画会(図書館ホール)
- 3月 11日(日) 運転会(講堂)
- 3月 18日(日) 工作教室(科学教室)
- 3月 25日(日) 工作教室(科学教室)
- 4月 4日(日) 運転会(講堂)



### ●春期特別展「てつどう模型展」模型工作教室の参加募集要項

○期日 3月18日・25日の両日

○予定人員数 客車製作 34名

電車製作 6名

計 40名

○中学生以上一般を対象

○材料費として客車製作には1,000円、電車製作には1,500円を徴収いたします。

○応募は、3月3日・4日・10日・11日の4日間に限り、博物館受付へ材料費をそえて申し込み下さい。

### ●自然観察会

#### 「江の島に海への自然をたずねて」

日/3月25日(日) 雨天中止

時間/午前9時～午後4時

申し込み/3月15日までに往復ハガキで。多数の時は抽選で30名。

春近い一日、江の島の海を歩いて海岸植物、地形、海への動物などを観察します。

## ●天文講演会「<sup>すいせい</sup>彗星」

ほうき星と呼ばれ、長い尾をたなびかせて太陽に近づく彗星を太陽系の成因とからめてお話しします。

日時 3月30日 午後2時より3時

場所 3階プラネタリウム室

申し込み 3月20日までに往復ハガキで

なお、中学生以上を対象とします。

## ●野点の会

気軽にお茶に親しむ会です。

日 3月11日(日曜日)

時間 午前11時から午後2時まで

場所 平塚市博物館茶室と前庭

協力 市役所茶道部なつめ会

参加 どなたでも自由に参加できます。

茶席 茶室1 野点1 計2席用意いたします。

## 4月の行事予定



### ●星を見る会「土星を見よう」

日時 4月18日 午後6時～8時

申し込み 4月8日までに往復はがきで。

多数のときは抽選で30名

### ●タンポポを調べよう

#### — タンポポ調査協力者募集 —

市内には、もともと生えていた在来種のカントウタンポポとシロバナタンポポ、外国から入ってきた帰化種のセイヨウタンポポ、アカミタンポポという4種類のタンポポがあります。去年は多くの方の協力をえて在来種と帰化種の分布のちがいを調べることができましたが、今年はセイヨウとアカミに重点をおいて、さらにくわしい調査をしたいと思います。

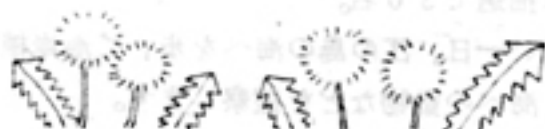
市内をいくつかの地域に分け、分担して調査をしますが、予備知識はまったく必要ありません。小学校4年生以下の方は、父兄同伴でお願いします。クラブなどの参加も歓迎します。

日程/4月22日(日) 午後1時30分～

調査の説明

4月29日～5月6日 各自つごうのよい日に 1日調査

5月13日(日) 午後1時30分～  
まとめ



### ●寄贈品コーナー展示替えのお知らせ

期間 昭和54年2月1日より3月30日まで

今回の展示は、市内王子台遺跡と岡崎上の入遺跡の遺構から発掘された弥生式土器と、市民の方々より寄贈されました弥生式土器を21点展示しました。平塚市域では、縄文時代の遺跡は比較的多く発掘され、弥生時代の遺跡はそれほど多くありません。弥生式土器をこれだけ多く紹介できますのは今回は初めてです。縄文式土器に比較してすっきりとした形、文様の少ない弥生式土器を、平塚市域遺跡分布図を参考にしてよくごらん下さい。現在平塚市では、中原上宿で発掘調査を続けております。平塚の古代の遺跡から、徐々にその時代の文化の一端が解明されてきています。どのような人々の暮らしがあったのでしょうか。発掘された遺物や、遺跡の環境などから理解できることを整理し、やがて皆さんの前に展示し、ごらんいただくことになることでしょう。黙して語らぬ土器、その形はよく見て研究すると実に多くのことを語っているのです。

### はくぶつかん VOL3 NO12

発行 平塚市博物館

〒254 平塚市浅間町12-41

TEL 0463-33-5111 通巻35

印刷 平塚市総務部行政課文書係